

第5章 弁室類築造工

第1．弁室類築造工

「平成30年度国土交通省土木工事標準積算基準書Ⅱ－2－⑩排水構造物工」によるものとする。

1．適用範囲

弁室類のうち、コンクリートブロック及び、レジンコンクリートブロックの弁室の築造、別途製作完成品であるボックス（鉄蓋・ブロック）据付け及び上床版コンクリートブロックの取付等に適用する。

2．施工歩掛

（1）弁室類（コンクリートブロック）築造歩掛

弁室の構造及び型式は、「土木工事共通仕様書」によるものとする。

種別	単位	制 水 弁 室						
		φ 200以下	φ 300 浅層埋 設用	φ 300	φ 400・ 500	φ 600以上 バタフライ弁	φ 600～1200 副弁内臓式 バタフライ弁	φ 1350～1500 副弁内臓式 バタフライ弁
		φ 250	φ 250	φ 250	φ 500	φ 600	φ 900	φ 900
		(400kg以下)	(80kg以下)	(400kg以下)	(400kg以下)	(800kg以下)	(1600kg以下)	(4000kg以下)
適用施工パッケージ		集水桝	集水桝	集水桝	集水桝	集水桝	集水桝	マンホール

種 別	単 位	空 気 弁 室		消 火 栓 室		排水栓室	洗浄栓室
		急速75～100(人孔無)	急速100(人孔付)	単口・双口	双 口		
		単口(φ 300以下)	単口(φ 400以上)	(浅層埋設用) 単 口		φ 500・φ 600	φ 600
		双口100	双口 150				
		φ 600	φ 900				
		(400kg以下)	(2200kg以下)	(400kg以下)	(800kg以下)	(400kg以下)	(400kg以下)
適用施工パッケージ		集水桝	集水桝	集水桝	集水桝	集水桝	集水桝

（注） 適用施工パッケージについて、集水桝は3－6プレキャスト集水桝 を、マンホールは3-10プレキャストマンホール を適用する。

(2) 弁室類（レジンコンクリートブロック）築造歩掛

弁室の構造及び型式は、「土木工事共通仕様書」によるものとする。

種別	単位	制 水 弁 室				
		φ 300以下 浅層埋設用	φ 400・500	φ 600～900 副弁内臓式 バタフライ弁	φ 1000～1200 副弁内臓式 バタフライ弁	φ 1350～1500 副弁内臓式 バタフライ弁
		φ 250	φ 500	φ 900	φ 900	φ 900
		(80kg以下)	(400kg以下)	(1600kg以下)	(1600kg以下)	(4000kg以下)
適用施工パッケージ		集水桝	集水桝	集水桝	集水桝	マンホール

種別	単位	空 気 弁 室		排水栓室	洗浄栓室
		急速75～100 (人孔無)	急速100 (人孔付)	単口・双口	
		φ 600	φ 900	φ 500 φ 600	φ 600
		(400kg以下)	(2200kg以下)	(400kg以下)	(400kg以下)
適用施工パッケージ		集水桝	集水桝	集水桝	集水桝

(注) 適用施工パッケージについて、集水桝は3－6プレキャスト集水桝 を、マンホールは3-10プレキャストマンホール を適用する。

4. (コンクリート) ボックスの組立標準重量

標準重量表

(単位：kg)

種別	区 分	鉄 蓋	コンクリートブロック				全体重量	適用口径
			調整用	床版	本 体 (中継)	底版		
制水弁室	φ 100mm以下 浅層埋設用	28.0 (250用)	56.0(4)	33.0	—	31.0	148.0	φ 75～ φ 100
	φ 150mm 浅層埋設用	28.0 (250用)	28.0(2)	33.0	—	31.0	120.0	φ 150
	φ 200mm 浅層埋設用	28.0 (250用)	28.0(2)	—	—	31.0	87.0	φ 200
	φ 300mm 浅層埋設用	28.0 (250用)	14.0(1)	—	—	31.0	73.0	φ 300
	φ 75mm～150mm	28.0 (250用)	42.0(3)	33.0	70.0(2)	31.0	204.0	φ 75～ φ 150
	φ 200mm～350mm	28.0 (250用)	42.0(3)	33.0	35.0(1)	31.0	169.0	φ 200～ φ 350
	φ 400～φ 500mm	74.3 (500用)	23.0(1)	51.0	91.0(1)	51.0	290.3	φ 400～ φ 500
	φ 600mm以上のバタフライ弁	100.3 (600用)	30.0(1)	54.0	(斜壁) 600×900×450 310.0 (直壁) 900×300 167.0	—	661.3	φ 600～ 以上
	φ 600～φ 1200mm 副弁内臓式バタフライ弁	229.0 (900用)	55.0(1)	104.0	(斜壁) 900×1200×300 363.0 (直壁) 1200×600 598.0	—	1349.0	φ 600～ φ 1200
	φ 1350～φ 1500mm 副弁内臓式バタフライ弁	229.0 (900用)	55.0(1)	104.0	(斜壁) 900×1500×600 1180.0 (直壁) 1500×900 1410.0	—	2978.0	φ 1350～ φ 500
空気弁室	急速75 φ 400～φ 500mm	100.3 (600用)	30.0(1)	54.0	91.0(1)	51.0	326.3	φ 400～ φ 500
	急速100 本管 φ 600mm以上 (人孔無)	100.3 (600用)	30.0(1)	54.0	91.0(1)	51.0	326.3	φ 600 以上
	急速100 本管 φ 800mm以上 (人孔付)	229.0 (900用)	55.0(1)	104.0	(斜壁) 900×1200×300 363.0 (直壁) 1200×900 898.0	—	1649.0	φ 800 以上
	単口 (φ 300mm以下) 及び 双口100使用箇所 (人孔無)	100.3 (600用)	30.0(1)	54.0	91.0(1)	51.0	326.3	
	単口 (φ 400mm以下) 及び 双口150使用箇所 (人孔付)	229.0 (900用)	55.0(1)	104.0	(斜壁) 900×1200×600 655.0 (直壁) 1200×600 598.0	—	1641.0	

(注) 調整用、中継の () 内は数量

(単位：kg)

種別	区 分	鉄 蓋	コンクリートブロック				全体重量	適用口径
			調整用	床版	本 体 (中継)	底版		
消 火 栓 室	単口 (φ 150～φ 250mm) 浅層埋設用 図 1－17	56.0	84.0(3)		75.0(1)	—	215.0	φ 150～ φ 250
	双口 (φ 300mm) 浅層埋設用 図 1－18	118.0	37.0(1)		164.0(2)	—	319.0	φ 300
	単口 (φ 150～φ 250mm)	56.0	28.0(1)		150.0(2)	—	234.0	φ 150～ φ 250
	双口 (φ 300mm～600mm)	118.0	37.0(1)		246.0(3)	—	401.0	φ 300～ φ 600
排 水 栓 室	単口 (φ 150～φ 250mm) 浅層埋設用	74.3 (500用)	69.0(3)	51.0	—	51.0	245.3	φ 150～ φ 250
	双口 (φ 300) 浅層埋設用	100.3 (600用)	120.0(4)	54.0	—	51.0	325.3	φ 300
	単口 (φ 150～φ 250mm)	74.3 (500用)	23.0(1)	51.0	91.0(1)	51.0	290.3	φ 150～ φ 250
	双口 (φ 300mm～600mm)	100.3 (600用)	30.0(1)	54.0	91.0(1)	51.0	326.3	φ 300～ φ 600
洗 浄 栓 室	φ 200～φ 300mm 浅層埋設用	100.3 (600用)	120.0(4)	54.0	—	51.0	325.3	φ 200～ φ 300

(注) 調整用、中継の () 内は数量。

図番号は、「土木工事共通仕様書」(弁栓室類標準図集)のものである。

5. (レジンコンクリート) ボックスの組立標準重量

標準重量表

(単位: kg)

種別	区 分	鉄 蓋	レジンコンクリートブロック						全体重量	適用口径
			調整用	上部壁	中部壁	下部壁	上下部壁	底版		
制水弁室	φ 100mm以下 浅層埋設用 図 1-8、図 1-9	14.8 (250用)	19.6(3)	—	—	—	17.3	13.0	64.7	φ 75～ φ 100
	φ 150mm 浅層埋設用 図 1-10	14.8 (250用)	10.6(2)	—	—	—	17.3	13.0	55.7	φ 150
	φ 200mm 浅層埋設用 図 1-11	14.8 (250用)	14.3(2)	—	—	—	11.8	13.0	53.9	φ 200
	φ 300mm 浅層埋設用 図 1-12	14.8 (250用)	14.3(2)	—	—	—	17.3	13.0	59.4	φ 300
	φ 400～φ 500mm 図 1-13	48.9 (500用)	47.7(3)	35.5	—	15.5	—	13.2	160.8	φ 400～ φ 500
	φ 600～φ 900mm 図 1-14 副弁内臓式バタフライ弁	206.5 (900用)	212.5(5)	—	(斜壁) 900×1200×300 363.0 (直壁) 1200×600 598.0		—	—	1380	φ 600～ φ 900
	φ 1000～φ 1200mm 図 1-15 副弁内臓式バタフライ弁	206.5 (900用)	170.0(4)	—	(斜壁) 900×1200×450 510.0 (直壁) 1200×600 598.0		—	—	1484.5	φ 1000～ φ 1200
	φ 1350～φ 1500mm 図 1-16 副弁内臓式バタフライ弁	206.5 (900用)	170.0(4)	—	(斜壁) 900×1500×450 952.0 (直壁) 1500×900 1410.0		—	—	2738.5	φ 1350～ φ 1500
空気弁室	急速75 図 1-18 φ 400～φ 500mm	66.5 (600用)	37.4(2)	44.2	14.5	21.5	—	28.1	212.2	φ 400～ φ 500
	急速100 図 1-18 本管 φ 600mm以上 (人孔無)	66.5 (600用)	37.4(2)	44.2	14.5	21.5	—	28.1	212.2	φ 600 以上
	急速100 図 1-17 本管 φ 800mm以上 (人孔付)	206.5 (900用)	138.1(4)	—	(斜壁) 900×1200×300 363.0 (直壁) 1200×900 898.0		—	—	1605.6	φ 800 以上
排水栓室	単口 (φ 150～φ 250mm) 浅層埋設用 図 1-19	48.9 (500用)	31.8(2)	35.5	—	15.7	—	23.8	155.7	φ 150～ φ 250
	双口 (φ 300) 浅層埋設用 図 1-20	66.5 (600用)	37.4(2)	44.2	—	21.5	—	28.1	197.7	φ 300
洗浄栓室	φ 200～φ 300mm 浅層埋設用 図 1-21	66.5 (600用)	37.4(2)	44.2	—	22.8	—	15.0	185.9	φ 200～ φ 300

(注) 調整用の () 内は数量。

図番号は、「土木工事共通仕様書」(弁栓室類標準図集) のものである。

<参 考 資 料>

コンクリートブロック (1個当り重量(kg))

	250用	500用	600用	900用
調整用	14.0	23.0	30.0	55.0
床版用	33.0	51.0	54.0	104.0
中継用	35.0	91.0	91.0	
底版用	31.0	51.0	51.0	

	単口	双口
消火栓用かさ上げ60	28.0	37.0
消火栓用	75.0	82.0

下水道用鉄筋製組立マンホール (JSWAS A-11) (1個当り重量(kg))

直壁	重量
900×300	167.0
1200×600	598.0
1200×900	898.0
1500×900	1410.0

斜壁	重量
600×900×450	310.0
900×1200×300	363.0
900×1200×450	510.0
900×1200×600	655.0
900×1500×450	952.0
900×1500×600	1180.0

レジンコンクリートブロック (1個当り重量(kg))

種類		高さ	重量
250 用	上部壁	150	10.7
	中部壁	100	5.0
		200	7.5
		300	10.0
	下部壁	300	11.5
	上下部壁	150	11.8
		300	17.3
	底版	40	13.0
500 用	上部壁	200	35.5
	中部壁	100	11.0
		200	17.0
		300	23.5
	下部壁	200	15.7
		300	22.0
		500	34.0
	底版	40	23.8
600 用	上部壁	200	44.2
	中部壁	100	14.5
		200	23.5
		300	32.5
	下部壁	200	21.5
		300	30.5
		500	47.0
	底版	40	28.1

分割底版型 (1個当り重量(kg))

種類		高さ	重量
500用	下部壁	200	15.5
	底版	40	13.2
600用	下部壁	200	22.8
	底版	40	15.0

調整リング (1個当り重量(kg))

種類	高さ	重量
250用	10mm	0.6
	30mm	1.2
	50mm	5.3
	100mm	9.0
500用	10mm	1.3
	30mm	3.8
	50mm	15.9
600用	10mm	1.5
	30mm	4.5
	50mm	18.7
900用	10mm	3.5
	30mm	10.6
	50mm	42.5